

インマヌエル中目黒キリスト教会
聖日礼拝2007.5.27.

メッセージ

ペンテコステに臨んで

『私の霊をすべての人に注ぐ』

ヨエル書2章12-17、28-31節

竿代照夫牧師

聖書朗読

旧約聖書

ヨエル書2章12-17、28-31節

12 「しかし、今、——主の御告げ。——
心を尽くし、断食と、涙と、嘆きとを
もって、わたしに立ち返れ。」

13 あなたがたの着物ではなく、あなた
がたの心を引き裂け。あなたがたの神、
主に立ち返れ。主は情け深く、あわれみ
深く、怒るのにおそく、恵み豊かで、
わざわざを思い直してくださるからだ。

- 14 主が思い直して、あわれみ、そのあとに祝福を残し、また、あなたがたの神、主への穀物のささげ物と注ぎのぶどう酒とを残してくださらないとだれが知ろう。
- 15 シオンで角笛を吹き鳴らせ。断食の布告をし、きよめの集会のふれを出せ。
- 16 民を集め、集会を召集せよ。老人たちを集め、幼子、乳飲み子も寄せ集めよ。花婿を寢室から、花嫁を自分の部屋から呼び出せ。

17 主に仕える祭司たちは、神殿の玄関の間と祭壇との間で、泣いて言え。

「主よ。あなたの民をあわれんでください。あなたのゆずりの地を、諸国の民のそしりとしたり、物笑いの種としたりしないでください。国々の民の間に、『彼らの神はどこにいるのか。』と言わせておいてよいのでしょうか。」

28 その後、わたしは、わたしの霊をすべての人に注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、年寄りには夢を見、若い男は幻を見る。

29 その日、わたしは、しもべにも、はしためにも、わたしの霊を注ぐ。

30 わたしは天と地に、不思議なしるしを現わす。血と火と煙の柱である。

31 主の大いなる恐るべき日が来る前に、太陽はやみとなり、月は血に変わる。

ヨエル2:12—17,28—31

全ての人に私の霊を

2007.5.27.

パンテコステ礼拝

主テキスト：

「その後、わたしは、わたしの霊をすべての人に注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、年寄りには夢を見、若い男は幻を見る。」

(ヨエル2:28)

はじめに

1. ペンテコステの意味

- ・ 過越しの祭りから第五十日目に当たる収穫感謝祭。
- ・ その日に、聖霊が降臨し、教会が誕生した。

2. 旧約時代の聖霊のお働き

- 聖霊は創造以来（創世記1:2、2:7）働き続けておられたが、そのお働きは限定的。

①対象において：選ばれた人々

(1サムエル16:13,14)

②深さにおいて：

人格的改変に及ぶ例が少なかった

(士師14:6)

- ・新契約に向けてエゼキエルの予言
「わたしの霊をあなたがたのうちに授け、
わたしのおきてに従って歩ませ、わたしの
定めを守り行なわせる。」

(エゼキエル36: 27)

3. ヨエルの預言

①ヨエル＝「主は神」、BC830頃（？）

②イナゴの大被害→外敵の来攻と侵略

③悔い改めへの呼びかけ

④祝福の約束

a) 豊かな収穫(19—27節)

b) 外敵からの守り(20節)

c) 霊的な祝福＝聖霊の注ぎ (28節)

A. 聖霊が注がれる

1. 聖霊はすべての人に注がれる (28節)。

息子、娘、年寄り、若者、
しもべ、はしたため・・・

2. それは「注ぎ」である

- ふりかける、ではなく、注ぎ、満たし、浸す。
- 聖霊の思いが私達の思いとなるまでに一体化すること。

3. それは顕著な徴と力をもって臨む

- ・ 夢、幻、預言＝神のみ心が示され、それに従う民が多く起されること
- ・ リバイバルは、歴史で繰り返された

B. 聖霊の注ぎの時

1. 「その後」＝終末論的な「主の日」

2. ペンテコステの日

＝贖いが成就し、その恵みが注がれた

(ヨハネ7:38、39)

C. 聖霊の注ぎの条件

1. 神に立ち返ること (12節)
2. 心からの嘆きをもって(12、13節)
3. 個別的で、国民的

終わりに

「しかし、今」（12節）

という言葉の中に、
神の憐れみの「今」を捉えよう